TEAC

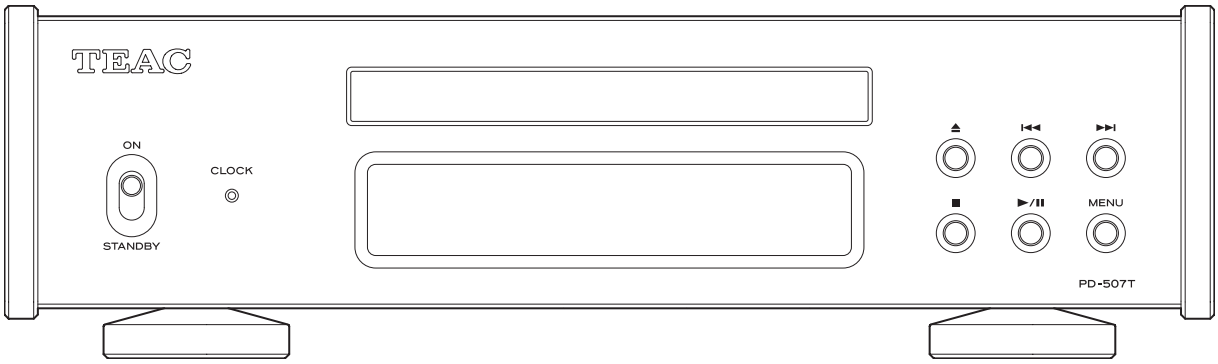
D01453701A

# PD-507T

## 取扱説明書

## CDトランスポート

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。




COMPACT disc DIGITAL AUDIO

# 目次

CD メカニズムのフローティングマウントについて...2
輸送用ロックネジについて .....3
安全にお使いいただくために .....4
ディスクについて.....7
付属品 .....8
ユーザー登録について .....8
お使いになる前に.....9
お手入れ .....9
接続 .....10
リモコンの使い方.....12
各部の名前とはたらき ( リモコン ).....13
各部の名前とはたらき ( 本体 ) .....14
ディスプレー.....15
基本操作 .....16
設定 .....20
困ったときは.....24
仕 様.....26
保証とアフターサービス .....27

記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

# CD メカニズムのフローティングマウントについて

この度は、ティアック製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の CD メカニズムは音質向上のため、メカニズム全体をシャーシに完全に固定しないセミフローティング構造になっております。トレイを含めメカニズム全体が前後左右にわずかに動きますが、仕様ですので安心してお使いください。

**音のエチケット**

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

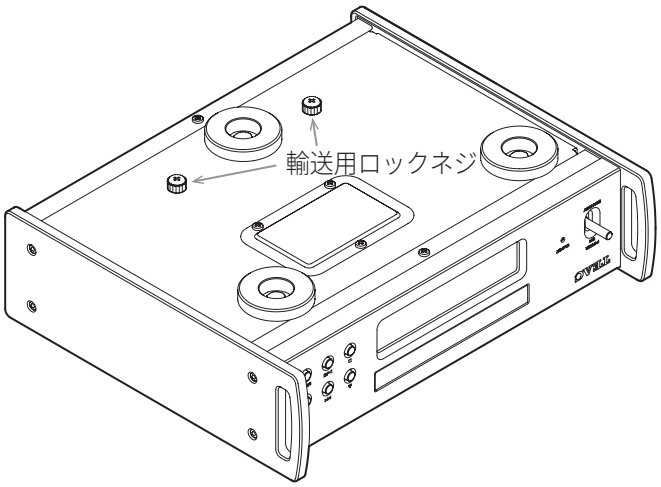



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

# 輸送用ロックネジについて

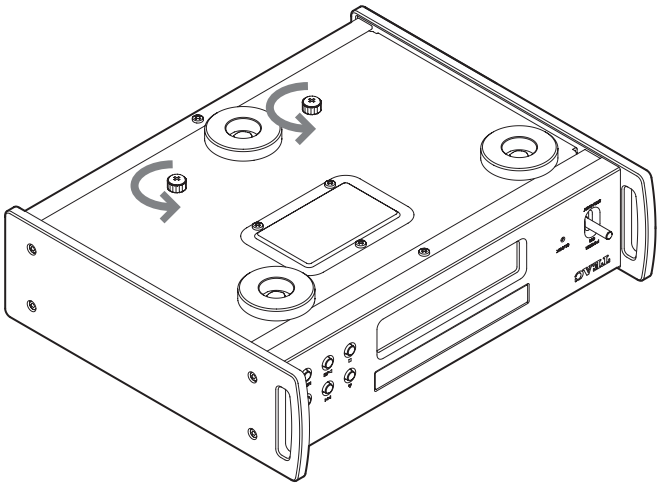
本機は、CD メカニズムをシャーシに完全に固定しないセミフローティング構造になっております。そのため輸送時の振動から CD メカニズムを守るために底面に輸送用ロックネジを取り付けて出荷しています。




## 本機を設置する前に

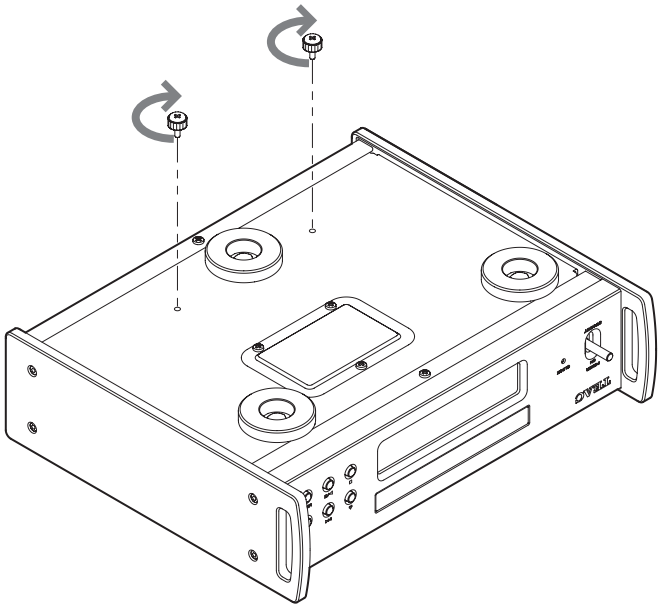
本機を設置する前に輸送用ロックネジ (2 本 ) を外してください。

- 外したネジは輸送時に必要となりますので、無くさないように保管してください。



## 本機を輸送するときは

本機を輸送するときは設置時に外した輸送用ロックネジ (2 本 ) をしっかり取り付けてください。



# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ | **警告** **以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。** |
|  **電源プラグをコンセントから抜く** | **万一、異常が起きたら**<br>**煙が出たり、変なにおいや音がするときは**<br>**機器の内部に異物や水などが入ったときは**<br>**この機器を落としたり、カバーを破損したときは**<br>すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。<br>異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。<br>販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。 |
|  **禁止** | **電源コードを傷つけない**<br>**電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない**<br>**電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない**<br>コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。<br>万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。 |
| | **付属の電源コードを他の機器に使用しない**<br>故障、火災、感電の原因となります。 |
| | **交流100ボルト以外の電圧で使用しない**<br>この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。 |
| | **この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(3 cm以上)離して置く**<br>**ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける**<br>すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。 |
| | **この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない**<br>火災・感電の原因となります。 |
| | **この機器の通風孔をふさがない**<br>通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。 |
|  | イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間，高音量で聴かないで下さい。 |
|  **指示** | **電源プラグにほこりをためない**<br>電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。<br>定期的(年1回くらい）にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。 |
|  **禁止** | **機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない**<br>内部に水が入ると火災・感電の原因となります。 |

| | |
|---|---|
| ⚠ | **警告** 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| <br>分解禁止 | **この機器のカバーは絶対に外さない**<br>カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。<br>内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。 |
| | **この機器を改造しない**<br>火災・感電の原因となります。 |

| | |
|---|---|
| ⚠ | **注意** 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
| <br>電源プラグをコンセントから抜く | **移動させる場合は、電源のスイッチをスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す**<br>ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります |
| | **旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く**<br>通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。 |
| <br>指示 | **オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する**<br>**また、接続は指定のケーブルを使用する** |
| | **電源を入れる前には、音量を最小にする**<br>突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 |
| | **フロントパネルの左右にある取っ手状の部品は装飾です。これに指を入れたり、これを持って本機を持ち運んだりしないでください。** |
| | **この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする**<br>異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。 |
| | **この機器には、付属の電源コードを使用する**<br>それ以外の物を使用すると、故障・火災・感電の原因となります。 |
| <br>禁止 | **ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない**<br>**湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない**<br>**調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない**<br>火災・感電やけがの原因となることがあります。 |
| | **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない**<br>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。<br>必ずプラグを持って抜いてください。 |
| <br>禁止 | **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**<br>感電の原因となることがあります。 |

# 安全にお使いいただくために（続き）

## 電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠ | **警告** 乾電池に関する警告 |
| 禁止 | **乾電池は絶対に充電しない**<br>破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。 |

| | |
|---|---|
| ⚠ | **警告** 電池に関する警告 |
| 強制 | **電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる**<br>間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| | **長時間使用しないときは電池を取り出しておく**<br>液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。 |
| 禁止 | **指定以外の電池は使用しない**<br>**新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない**<br>破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。 |
| | **炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない**<br>本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。 |

| | |
|---|---|
| ⚠ | **注意** 電池に関する注意 |
| 禁止 | **金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない**<br>ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。 |
| | **電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない**<br>電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| 分解禁止 | **分解しない**<br>電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。 |

| | |
|---|---|
| 愛情点検 | 電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。<br>内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。<br>特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。<br>5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター ( 裏表紙に記載 ) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。 |

## 本機で再生できるディスク

「COMPACT disc DIGITAL AUDIO」ロゴマークのある CD

音楽 CD フォーマットで正しく記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。

- 8cm CD もアダプターなしで再生できます。
  ティスクトレー中央の 8cm CD 用ガイドに合わせてディスクを置いてください。

### ⚠ 注意

**上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

- コピーコントロール CD や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

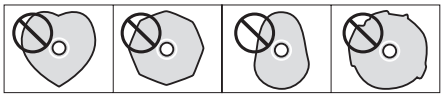
## CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマット (CD-DA) で記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

## 使用上の注意

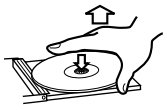
- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- プリンターでラベル面への印刷が可能な CD-R/CD-RW を本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となるおそれがあります。
  必要なとき以外は、ディスクを取り出してケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは特に貼り付きやすいので、使用しないでください。

## ディスクの取り扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面 ( レーベルがない面 ) に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



取り出し方



持ち方

# ディスクについて（続き）

## ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RW は、通常の CD と比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

## お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

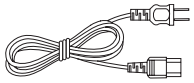


- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

# 付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 ( 裏表紙に記載 ) にご連絡ください。

**電源コード × 1**



**リモコン (RC-1338) × 1**
**リモコン用乾電池 ( 単 4) × 2**
**フット用クッション× 3**
**取扱説明書 ( 本書、保証書付き ) × 1**

# ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。
https://teac.jp/jp/signup

### ⚠ 設置の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

## 設置について

本機の底面には、鋼鉄製のフットを微小な隙間を持たせた半固定状態で装備しています。そのため、製品を持ち上げた際には、フットは底面からわずかに動きます。
本体設置時に、筐体がフットから不要なストレスを受けることなく、フットの上に載る構造となっています。

- フットが製品底面からわずかに動きますが、不良ではありません。
- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフット用クッションを貼ってお使いください。
- 本機のトップパネルは半固定状態で装着されています。パネルがわずかに動きますが、不良ではありません。



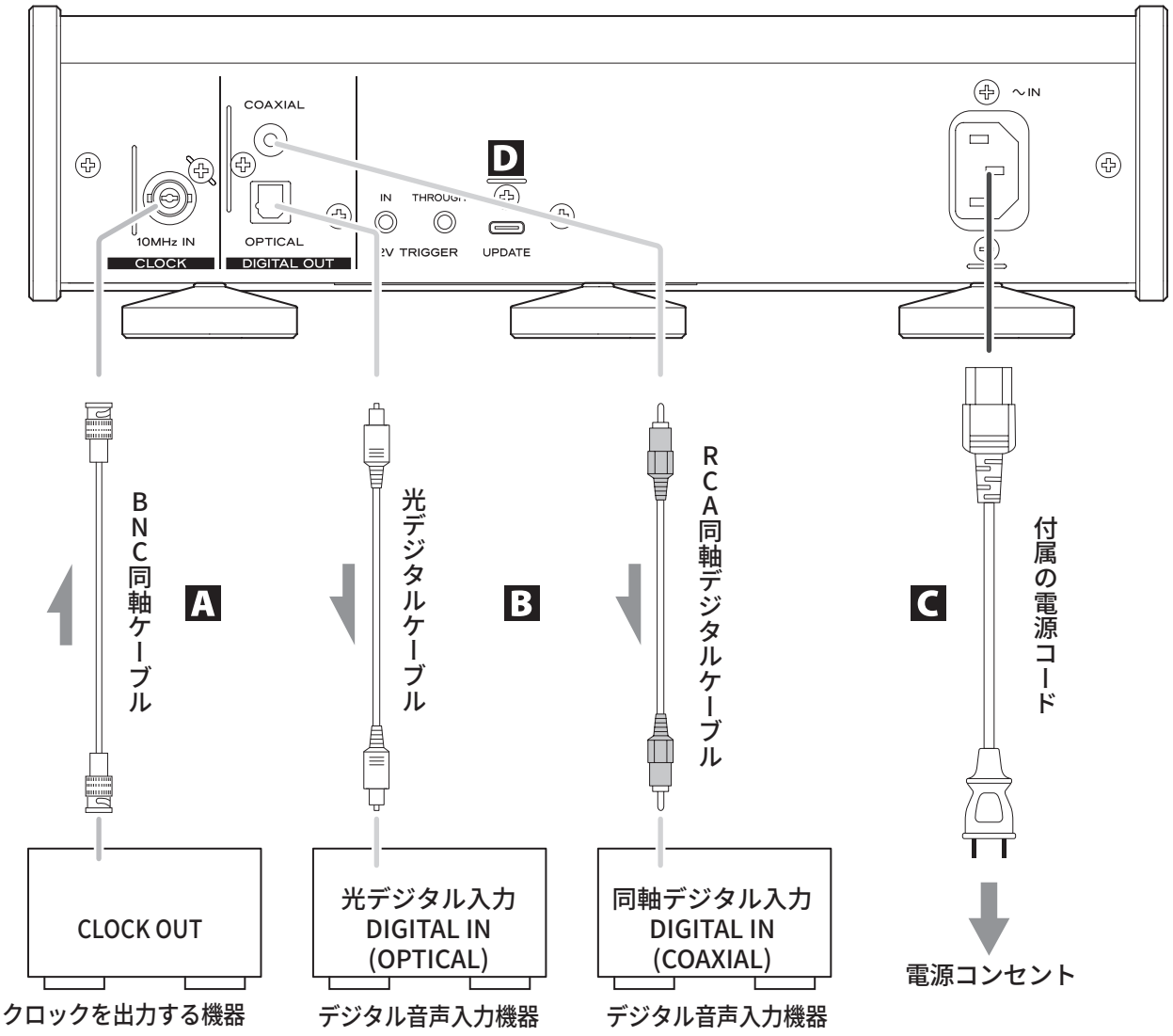
トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

### ⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

# 接続

**⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。**

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるため、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。




## A クロックシンク入力端子 (10MHz IN)

クロックシンク入力端子 (10MHz IN) に 10MHz の同期信号 ( クロック ) を入力します。(26 ページ )

**接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。**

## B デジタル音声出力端子 (COAXIAL/OPTICAL)

デジタル音声を出力します。音声出力機器のデジタル音声入力端子と接続してください。

**接続には市販の RCA 同軸デジタルケーブルまたは角型光デジタルケーブルをお使いください。**

## C 電源インレット ( ～ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。

**全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。**

**⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。**

## D メンテナンス用端子 (UPDATE)

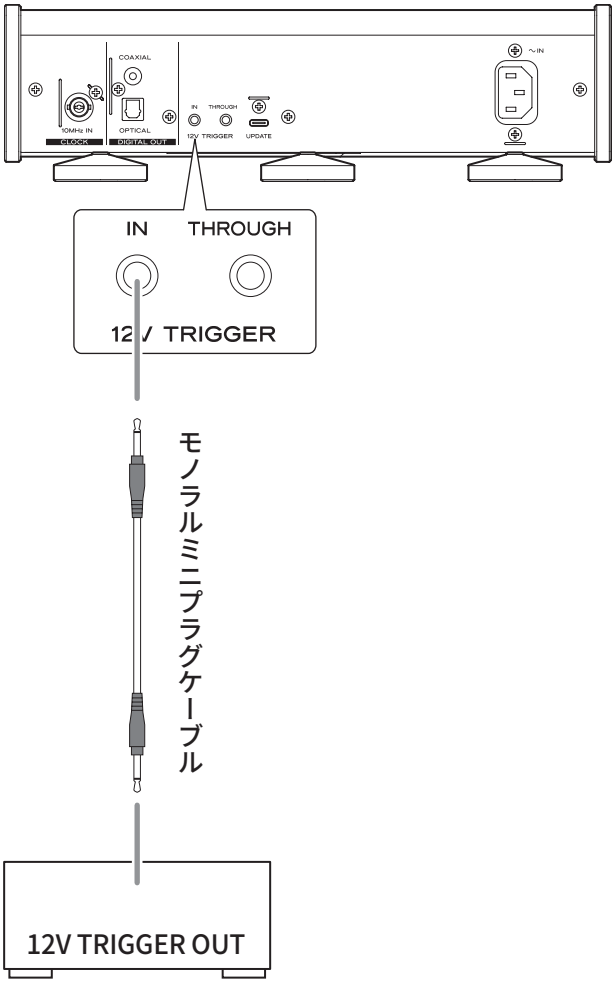
メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

## 本機の電源を外部機器に連動させる（トリガー機能）

トリガー機能に対応した UD-507 やプリアンプなどと接続することにより、UD-507 やプリアンプなどの電源操作に本機の電源を連動させることができます。
接続には、市販のモノラルミニプラグケーブルをお使いください。

**注意**

トリガー機能を使用するには、本機のスタンバイ / オンスイッチ（STANDBY/ON）をオンにしてください。




**トリガー出力対応機器**
**（UD-507、プリアンプなど）**

### トリガー端子 (12V TRIGGER)

**IN（イン）**

プリアンプなどのトリガー出力端子に接続します。
プリアンプなどの電源操作に連動して、本機の電源がスタンバイまたはオンになります。

**THRU（スルーアウト）**

本機の IN（イン）端子に入力された信号がそのまま出力されます。
パワーアンプやサブウーハーなどの他のトリガー入力対応機器を接続することにより、電源を本機の IN 端子に接続した機器に連動させることができます。

**⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。**

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるため、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

# リモコンの使い方

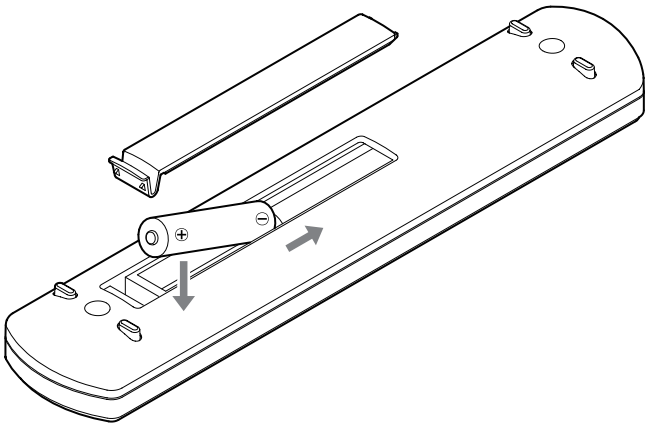
## 使用上の注意

**⚠ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。6 ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5 メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

## 電池の入れ方

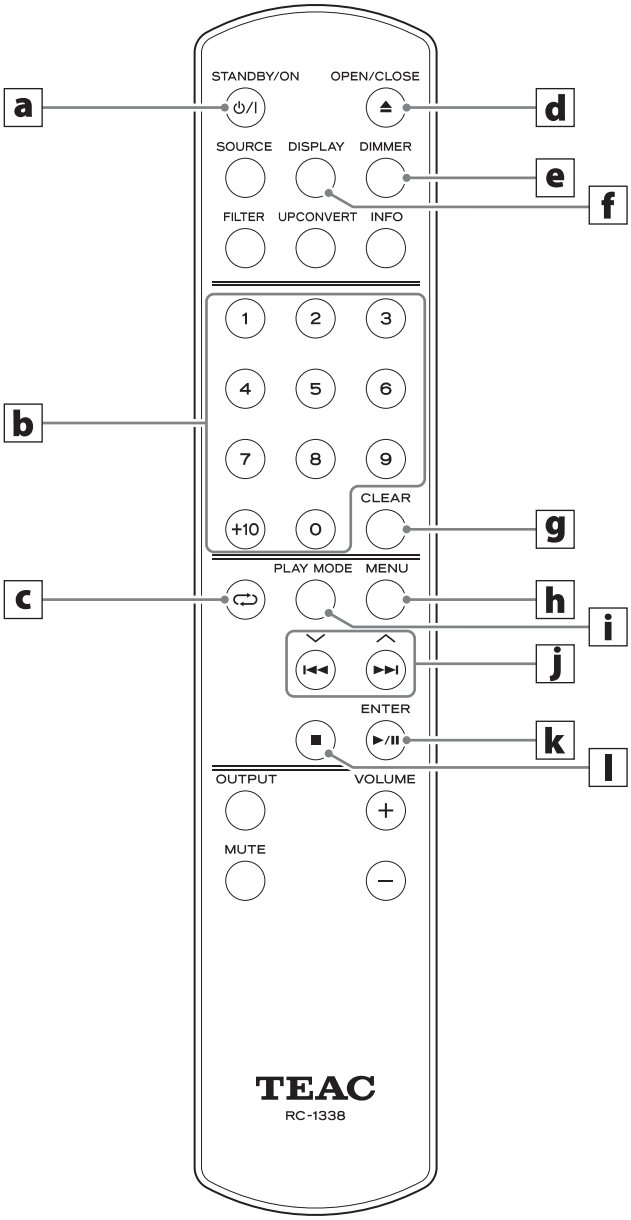
リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 ( 単 4 形 ) 2 本を入れて、フタを閉めてください。



## 電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。

使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。




本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

### a スタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON)

電源をスタンバイ / オンします。

### b 数字ボタン

選曲、プログラムなどに使用します。

### c リピートボタン（🔁）

リピート再生の設定を変更します。（17 ページ）

### d トレー開閉ボタン（OPEN/CLOSE ⏏）

ディスクトレーを開閉します。

### e ディマーボタン (DIMMER)

本体のディスプレーの明るさを調節できます。

### f 画面切換ボタン (DISPLAY)

### g クリアボタン（CLEAR）

プログラムした曲を削除します。

### h メニューボタン (MENU)

設定モードになります。（20 ページ）
設定モード中に押すと、前の画面に戻ります。

### i 再生モードボタン（PLAY MODE）

プログラム再生モードやシャッフル再生モードに切り換えます。

### j スキップボタン (⏮、⏭)/ 上下ボタン (∧、∨)

前または後ろのトラックにスキップします。
再生中に長押しすると、早戻し / 早送りをします。

**メニュー画面表示時**

設定値の選択に使用します。

### k 再生 / 一時停止ボタン (▶/⏸)/ エンターボタン (ENTER)

停止中または一時停止中に押すとディスクの再生をします。
ディスクの再生中に押すと一時停止します。

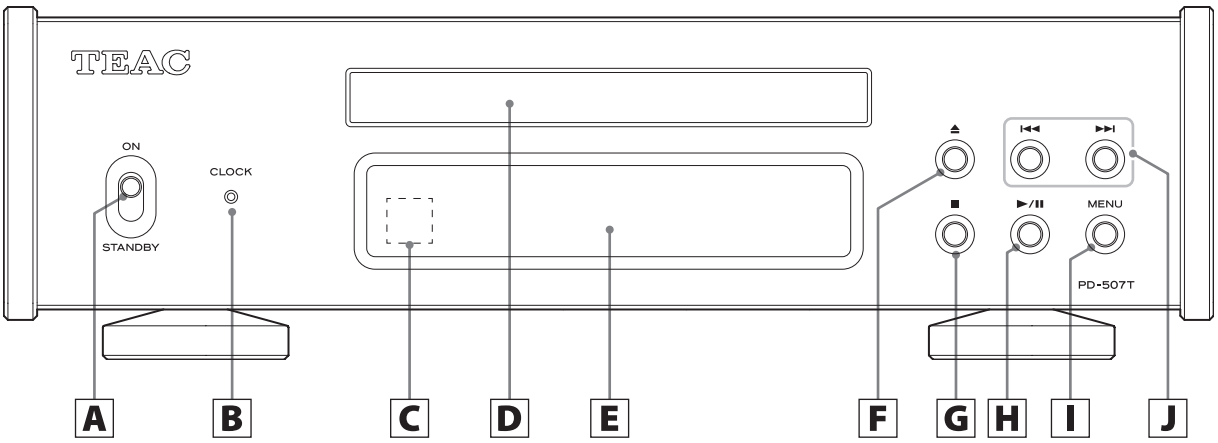
**メニュー画面表示時**

押すと、設定値の選択開始または確定をします。

### l 停止ボタン（■）

再生中に押すと停止します。

# 各部の名前とはたらき ( 本体 )




### A スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY/ON)

電源をスタンバイ / オンします。

- スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY/ON) が ON で、ディスプレーの表示が消えている場合、以下の状態のいずれかになっています。
  - ・電源がオンの状態で、ディスプレーの明るさが「AUTO OFF」になっている。(22 ページ )
  - ・オートパワーセーブ機能が働いて、スタンバイ状態になっている。(22 ページ )
  - ・電源コンセントが抜かれている。

  オートパワーセーブ機能が働いて、スタンバイ状態になった場合、電源をオンにするには、リモコンのスタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON) を押すか、スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY/ON) を STANDBY にしてから、再び ON にしてください。

### B クロックインジケーター (CLOCK)

クロックシンクの状態を表示します。

点灯 : クロックシンク入力端子 (10MHz IN) のクロックに同期している。
点滅 : クロックが入力されていない。
または、クロック同期中。
消灯 : 外部クロックを使わない。

- クロックシンクの設定は 21 ページを参照してください。

### C リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をリモコン受光部に向けて操作してください。

### D ディスクトレー

CD ディスクをセットします。

### E ディスプレー

再生中の音声の情報やメニュー画面を表示します。

### F トレー開閉ボタン (⏏)

ディスクトレーを開閉します。

### G 停止ボタン (■)

再生を停止します。

### H 再生 / 一時停止ボタン (►/II)

停止中または一時停止中に押すとディスクの再生をします。
ディスクの再生中に押すと一時停止します。

**メニュー画面表示時**

押すと、設定値の選択開始または確定をします。

### I メニューボタン (MENU)

設定モードになります。 (20 ページ )
設定モード中に押すと、前の画面に戻ります。

### J スキップボタン (I◄◄/►►I)

前または次の曲にスキップします。
再生中に長押しすると、早戻し / 早送り動作になります。(17 ページ )

**メニュー画面表示時**

設定値の選択に使用します。

## オートパワーセーブについて

本製品には、オートパワーセーブ機能があります。(22 ページ )
出荷時は ON に設定されています。
音声が出力されていない状態で、何も操作しないまま 30 分経過すると自動的にスタンバイになります。
オートパワーセーブ機能を使用しないときは設定を OFF にしてください。(22 ページ )

## ディスプレーの明るさ

ディスプレーの明るさを調節することができます。(22 ページ )
出荷時は、Slightly BRIGHT( やや明るい ) に設定されています。
AUTO OFF ( 自動消灯 ) に設定すると、操作をしていないときにディスプレーが消灯します。

- NO DISC などの警告表示は点灯したままになります。

## 電源オン時




上記のように表示された後に、状態表示になります。

**ディスクがないとき**

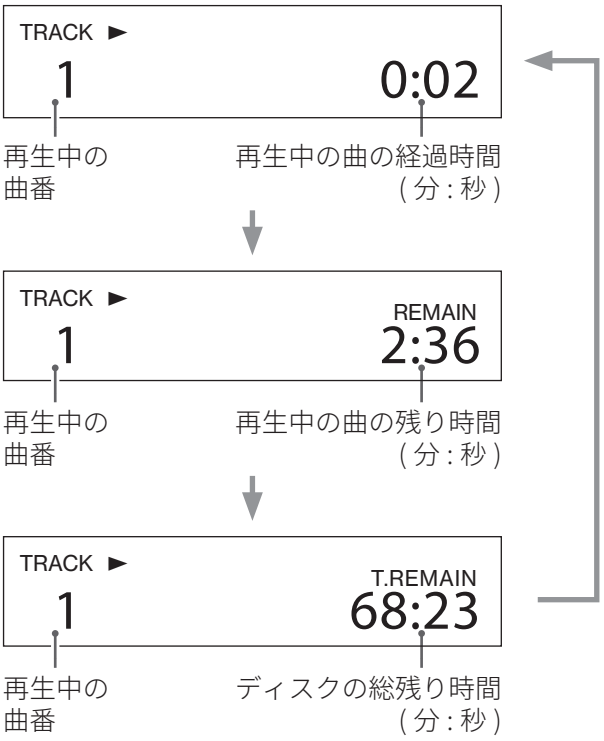



**表示例 停止中**

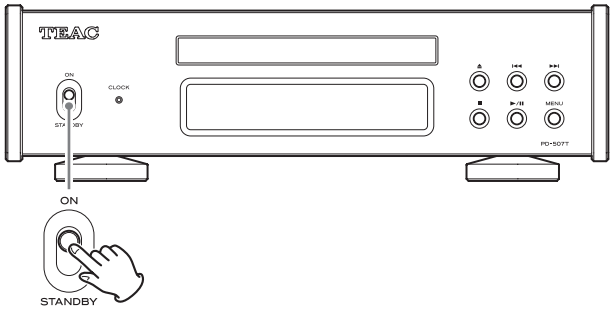



ディスクの再生中または一時停止中にディスプレーボタン (DISPLAY) を押すと、ディスプレーの表示が次のように切り換わります。

**表示例 再生中**



## 1 スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY/ON) を ON 側に倒して電源をオンにする。

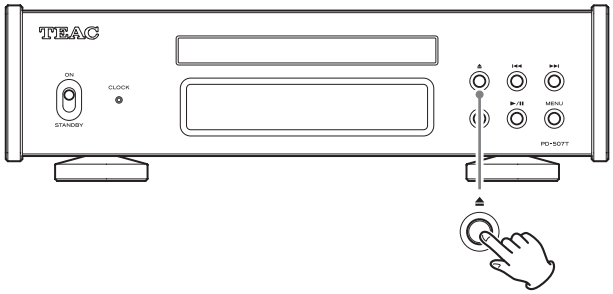



- ステレオアンプを接続した場合は、ステレオアンプの電源を必ず一番最後にオンにしてください。

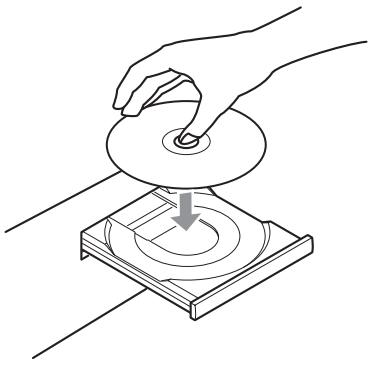
## 2 音量を最小にする。

音量を調節する機器 ( ステレオアンプなど ) の音量を最小にしてください。

## 3 トレー開閉 (⏏) ボタンを押す。

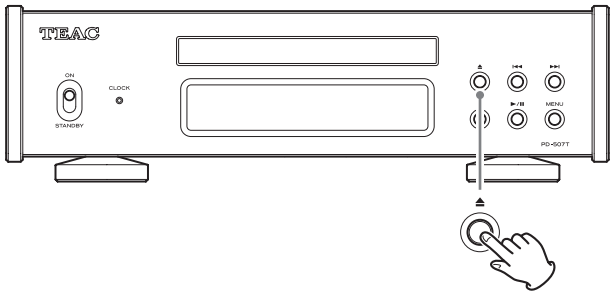



## 4 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。



- トレーにはディスクを 2 枚以上のせないでください。
- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレー中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。
- トレーの開閉動作中は、手で無理やり開け閉めしないでください。

## 5 トレー開閉 (⏏) ボタンを押して、トレーを閉める。




### ⚠ 注意

**指をはさまないよう、ご注意ください。**

「READING」と表示され、ディスクの読み込みを開始します。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

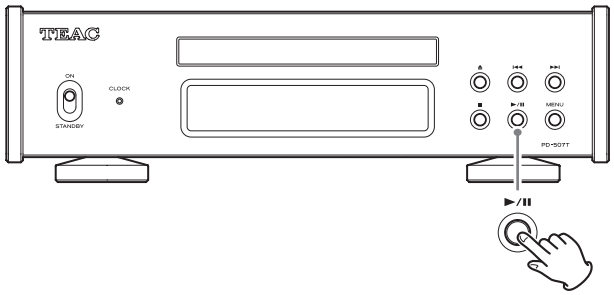
読み込みを終了すると以下のように表示されます。

**表示例**



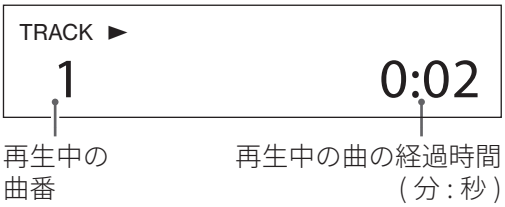

- パワーオンプレイが ON に設定されていると電源オン直後に、自動的に再生を開始します。(22 ページ)
- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」と表示されます。
- 再生できないディスクの場合、「No support」と表示され、再生を行うことはできません。

## 6 再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) ボタンを押す。




1 曲目から再生が始まります。

表示例



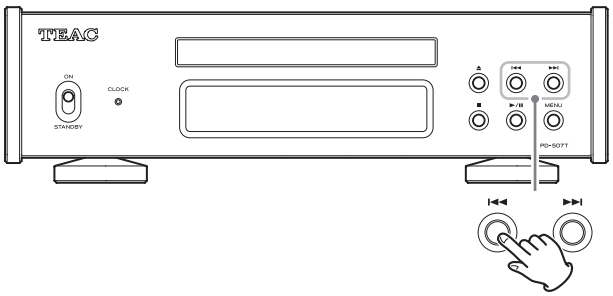

### 7 音量を調節する。

音量を調節する機器 ( ステレオアンプなど ) の音量を調節してください。

**メモ**

- 「オートパワーセーブ」は、出荷時 ON に設定されています。(22 ページ )
- 「ディスプレーの明るさ」が AUTO OFF に設定されていると、操作をしていないときに表示が消えます。(22 ページ )

## 聴きたい曲を探す ( スキップ )

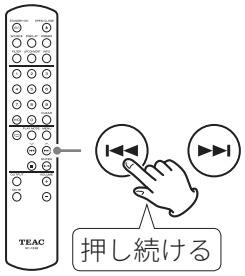



スキップボタン (I◄◄/►►I) を押してください。前または次の曲にスキップします。希望する曲番になるまで、繰り返し押してください。
曲番選択後、曲の先頭から再生を開始します。

- 再生中にスキップボタン (I◄◄) を 1 回押すと、再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、スキップボタン (I◄◄) を繰り返し押してください。

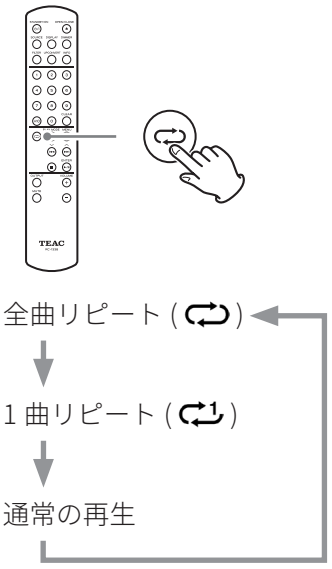
## 聴きたい部分を探す ( サーチ )

再生中にリモコンのスキップボタン (I◄◄/►►I) を押し続けると早戻し / 早送りができます。聴きたい部分が見つかったら、スキップボタン (I◄◄/►►I) を離してください。



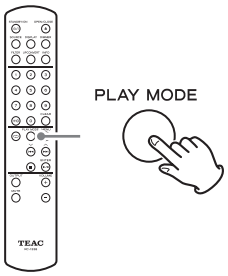

## リピート再生

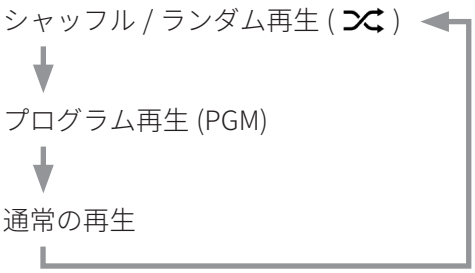
リピートボタン (🔁) を押すたびに、以下のようにリピートのモードが切り換わります。



## シャッフル / ランダム再生

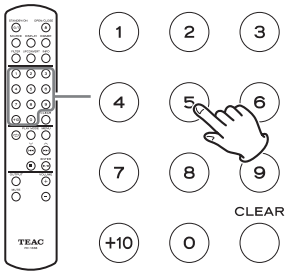
再生モードボタン（PLAY MODE）を何回か押して画面右上に「🔀」を表示させるとシャッフル / ランダム再生に切り換わります。
設定に従って、シャッフルまたはランダム再生を行います。




- ランダム再生の場合、ストップボタン (■) が押されるまで、再生は止まりません。
- ランダム再生時にリピート再生を設定しても動作は変わりません。

## 数字ボタンで選んで再生する




再生中または停止中に数字ボタンを押すと、入力した曲番から再生を始めます。
1 桁の場合は、再生する曲番の数字ボタンを押してください。2 桁の場合は、「+10」ボタンを必要な回数押してから、数字ボタンを押してください。曲番入力後、再生が始まります。

**操作例**

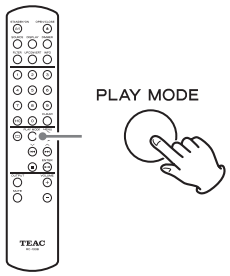
曲番 7 : (7)

曲番 23 : (+10) ⇨ (+10) ⇨ (3)

## プログラム再生

### プログラムする

**1 再生モードボタン（PLAY MODE）を何回か押して画面右上に「PGM」を表示させる。**







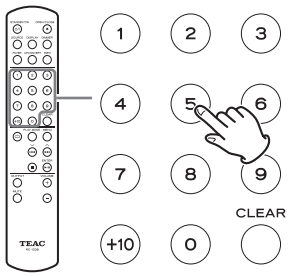
- 再生中に「PGM」を表示させると、再生中の曲番がプログラム番号 1 に登録されます。

**メモ**

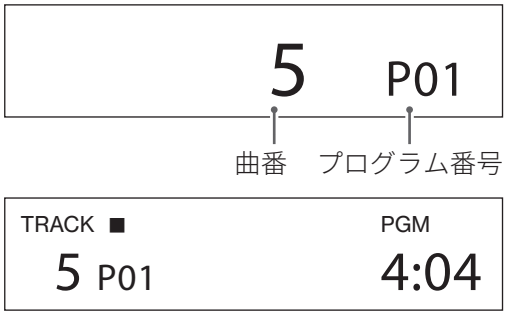
トレーが開いている状態でもプログラムをすることができます。このとき 1 から 99 の曲番をプログラムできますが、CD を挿入後 CD に収録されていない曲番は削除されます。

**2 数字ボタンで曲番を入力する。**

曲番の入力方法は、「数字ボタンで選んで再生する」を参照してください。




**表示例**




**3 プログラムしたい曲番を続けて全て入力する。**

**4 再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) を押してプログラム再生を開始する。**

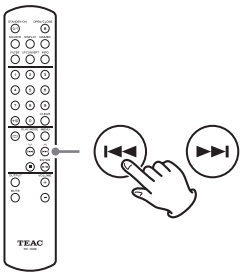
- プログラム再生中もスキップ、サーチ操作とリピート再生を行えます。

**メモ**

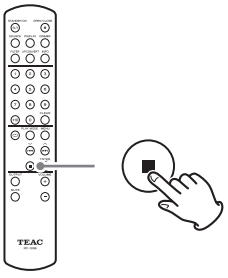
画面右上に「PGM」表示中に数字ボタンで曲番を入力したときの動作は、PROGRAM PLAY の設定に従います。(23 ページ )

## プログラムの順番をチェックする

停止中にスキップボタン (I◄◄/►►I) を押すと表示中のプログラム番号が変わり、プログラムの順番を確認できます。



確認後、停止ボタン（■）を押してください。



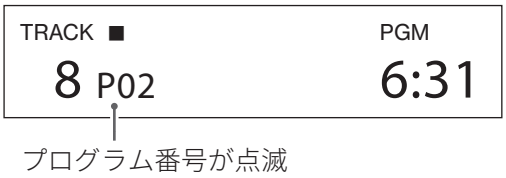
## 登録したプログラムを編集する

停止中にスキップボタン (I◄◄/►►I) を押すとプログラム番号が点滅し、プログラム編集モードになります。停止ボタン（■）を押すと、プログラム編集モードを終了します。

### 曲番を挿入する

**1 停止中にスキップボタン (I◄◄/►►I) を押して挿入するプログラム番号を表示する。**

表示例




プログラム番号が点滅

**2 数字ボタンで曲番を入力する。**

表示例




- この例では、プログラム３に曲番６が挿入され、プログラム３以降にあった曲番は、プログラム４以降に移動します。
- 複数の曲番を挿入する場合は、曲番を続けて入力します。

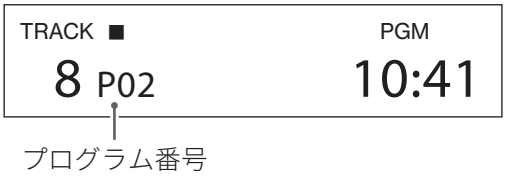
**3 停止ボタン（■）を押して編集を終了する。**

# 基本操作 ( 続き )

## 選択した曲番を削除する

**1** **停止中にスキップボタン (I◄◄/►►I) を押して削除するプログラム番号を表示する。**

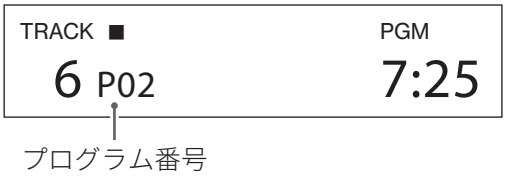
表示例




プログラム番号

**2** **クリアボタン（CLEAR）を押してプログラムを削除する。**

表示例




プログラム番号

- この例では、プログラム 2 の曲番 8 が削除され、プログラム 3 以降の曲番は、順次詰められます。

**3** **停止ボタン ( ■ ) を押して編集を終了する。**

**メモ**

停止中にクリアボタン（CLEAR）を押すと、登録されているプログラムの一番最後の曲番が削除されます。

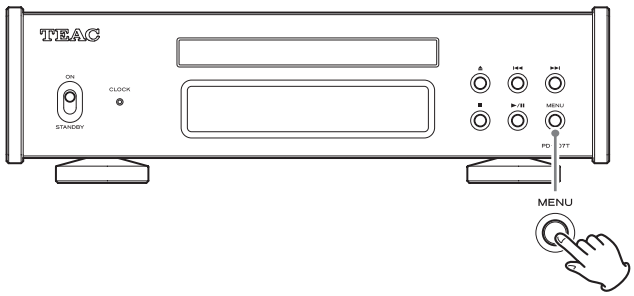
## プログラムを全て削除する

以下の操作でプログラムが削除されます。

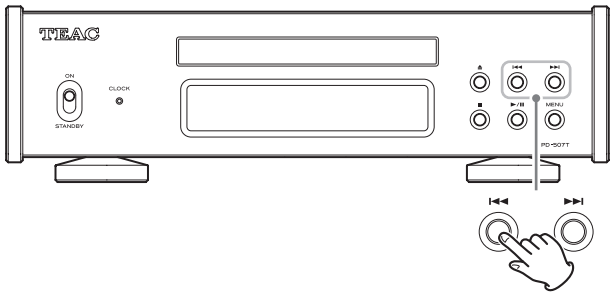
- 再生モードボタン（PLAY MODE）を押して画面右上の「PGM」表示を消す。
- ディスクを取り出す。

# 設定

**1** **メニューボタン (MENU) を押してメニュー画面を表示させる。**




**2** **スキップボタン (I◄◄/►►I) を押して設定したい項目を表示させる。**

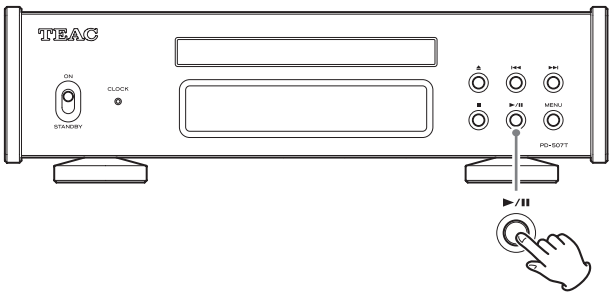



- リモコンで操作する場合は、上下ボタン (へ、﹀) を使用します。

メニューは以下のように変わります。

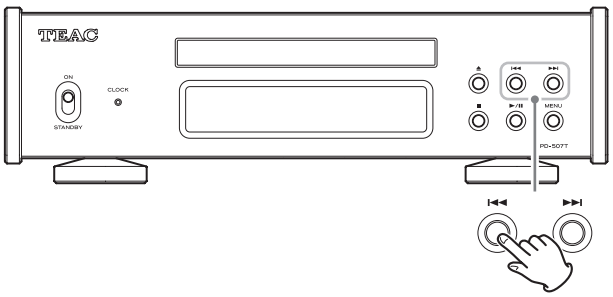
CLOCK SYNC
↓↑
DIGITAL OUT
↓↑
DIMMER
↓↑
AUTO POWER SAVE
↓↑
APS TIME SETTING
↓↑
POWER ON PLAY
↓↑
PLAY MODE
↓↑
SHUFFLE_RANDOM
↓↑
PROGRAM PLAY
↓↑
STANDBY, CLOSE
↓↑
VERSION INFO

**3** 再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押す。



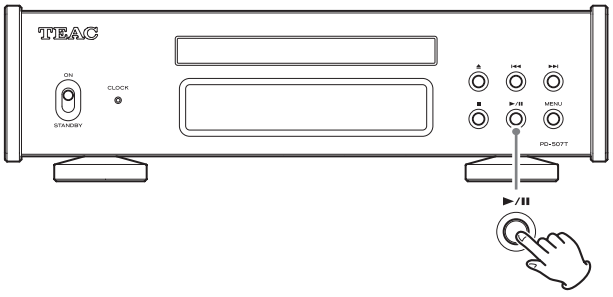

- リモコンで操作する場合は、エンターボタン (ENTER) を押します。
- ディスプレーに表示されている値が設定されている値です。

**4** スキップボタン (I◄◄/►►I) を押して設定値を変更する。



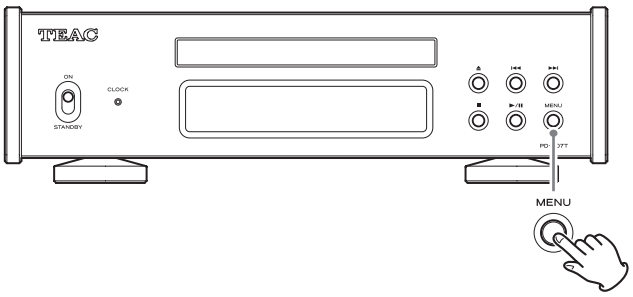

- リモコンで操作する場合は、上下ボタン (へ、﹀) を使用します。
- メニューボタン (MENU) を押すと設定項目の選択に戻ります。

**5** 再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押す。




- リモコンで操作する場合は、エンターボタン (ENTER) を押します。

**6** 設定が終了したら、メニューボタン (MENU) を押してディスク再生表示に戻す。




- 約 7 秒間操作をしないと、ディスク再生表示になります。

## クロックシンク

MENU
CLOCK SYNC
➢ OFF

**OFF（初期値）**
クロックシンクしません。

**ON**
クロックシンク入力端子 (10MHz IN) に入力された 10MHz クロックに本機のマスタークロックを同期させます。

## デジタル出力設定

MENU
DIGITAL OUT
➢ COAXIAL

**COAXIAL（初期値）**
COAXIAL デジタル音声出力端子から CD のデジタル音声信号が出力されます。

**OPTICAL**
OPTICAL デジタル音声出力端子から CD のデジタル音声信号が出力されます。

次のページに続きます。 ➡

## ディスプレーの明るさ

MENU
DIMMER
➢ Slightly BRIGHT

**BRIGHT**
明るい

**Slightly BRIGHT（初期値）**
やや明るい

**DARK**
暗い

**AUTO OFF**
自動消灯
- 操作をしていないときにディスプレーが消灯します。

**メモ**

リモコンのディマーボタン (DIMMER) で直接設定できます。

## オートパワーセーブ

本製品には、オートパワーセーブ機能があります。

- 出荷時はオートパワーセーブ機能は ON に設定されています。

MENU
AUTO POWER SAVE
➢ ON

**OFF**
オートパワーセーブ機能を使用しません。

**ON（初期値）**
音声が出力されていない状態で、何も操作しないまま 30 分経過すると自動的にスタンバイになります。
- オートパワーセーブ時間設定でスタンバイになるまでの時間を変更できます。

## オートパワーセーブ時間設定

オートパワーセーブでスタンバイになるまでの時間を設定します。

MENU
APS TIME SETTING
➢ 30 [MIN]

5 ～ 255 分 ( 初期値 30 分 ) の範囲で 5 分刻みで設定できます。

## パワーオンプレイ

電源をオンにすると自動的に再生を開始します。

MENU
POWER ON PLAY
➢ OFF

**OFF（初期値）**
電源オンで自動的に再生しません。

**ON**
電源オンで自動的に再生を開始します。

## 再生モード

再生モードを選択します。

MENU
PLAY MODE
➢ NORMAL

**NORMAL( 初期値）**
通常再生

**SHUFFLE**
シャッフル再生

**RANDOM**
ランダム再生

**PROGRAM**
プログラム再生

**メモ**

「シャッフル / ランダム再生」で設定されている項目に連動して「SHUFFLE」または「RANDOM」が選択項目として表示されます。

## シャッフル / ランダム再生

シャッフル再生時の再生内容を選択します。

MENU
SHUFFLE_RANDOM
➢ SHUFFLE PLAY

**SHUFFLE PLAY（初期値）**
ディスク内の曲を順不同に 1 回づつ再生します。

- リピート設定されていないときは、ディスク内のすべての曲を再生すると停止します。

**RANDOM PLAY**
ディスク内の曲を無作為に再生します。

- リピート設定に関わらず、ストップボタン (■) が押されるまで、再生は止まりません。

## プログラム再生

MENU
PROGRAM PLAY
➢ PLAY LATER

プログラム再生中に数字ボタンを押したときの動作を選択します。

**PLAY LATER（初期値）**
入力した曲番をプログラムの最後に登録します。
再生中の曲は再生を継続します。

**PLAY NOW**
入力した曲番をプログラムの最後に登録して、登録した曲を再生します。

## スタンバイクローズ

スタンバイ時のトレーの動作を設定します。

MENU
STANDBY, CLOSE
➢ OFF

**OFF（初期値）**
スタンバイになるときに、自動的にトレーを閉じません。

**ON**
スタンバイになるときに、自動的にトレーを閉じます。

## 情報表示

MENU
VERSION INFO
➢ SYSTEM

本機ファームウェアのバージョンを表示します。

**SYSTEM**
マイコンのファームウェアバージョン

**CD DRIVE**
CD DRIVE ファームウェアバージョン

# 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター ( 裏表紙に記載 ) にご連絡ください。

## 一般

### 電源がオンにならない

➡電源コードがきちんと電源に接続されているか、差し込みが不完全ではないかを確認してください。コンセントがスイッチ式の場合、オンになっているか確認してください。

➡コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているかを確かめてください。

➡オートパワーセーブ機能でスタンバイ状態になっている場合は、リモコンのスタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON) を押すと電源がオンになります。

### 電源が自動的にスタンバイになる

➡オートパワーセーブ機能が働いて電源がスタンバイになっています。一旦スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY/ON) を STANDBY にして、再度 ON にして下さい。
必要に応じてオートパワーセーブ設定を変更してください。(22 ページ )

### リモコンで操作できない

➡本体の電源をオンにしてください。(16 ページ )

➡電池が消耗していたら、2 本とも新しい電池に交換してください。(12 ページ )

➡本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から 5 メートル以内の距離で、本体に向けて操作してください。(12 ページ )

### テレビなどが誤動作する

➡ワイヤレスリモコン機能を持つテレビなどの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

### ブーンというノイズが聞こえる

➡接続ケーブルの近くに電源コードや蛍光灯等がある場合は、本機からできるだけ遠ざけてください。

### 音が出ない

➡本機にステレオアンプを接続しているときは、ステレオアンプの音量を調節してください。

➡外部機器の接続をもう一度確認してください。

➡デジタル出力設定（DIGITAL OUT）は、接続しているデジタル音声出力端子（COAXIAL または OPTICAL）に合わせて設定してください。

## CD トランスポート

### 再生できない

➡ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。

➡ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

➡何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。

➡ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RW を再生できないことがあります。

➡ファイナライズされていない CD-R/CD-RW は本機で再生できません。

### 音飛びする

➡震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。

➡ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

➡傷が付いたり、ヒビが入っているディスクは使わないでください。

## クロックシンク

### クロックインジケーター (CLOCK) の点滅が消えない

➡クロックシンクを使用しない時は、クロックシンク設定で「OFF」を選んでください。

➡同期できないクロックが入力されている可能性があります。クロックシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

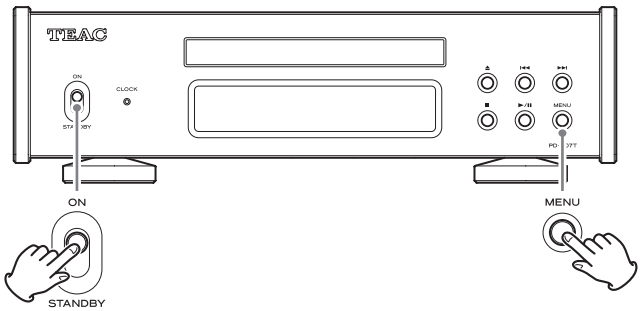
本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

**結露現象について**

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

## 各種設定を工場出荷時の設定に戻すには

**1 メニューボタン (MENU) を押しながらスタンバイ / オンスイッチ (STANDBY/ON) を ON にする。**




**2「FACTORY RESET」メニューが表示されたらメニューボタン (MENU) から、手をはなす。**

MENU
FACTORY RESET
⇒ ARE YOU SURE?

**3 再生 / 一時停止ボタン (►/II) を押す。**

PLEASE WAIT!

初期化が終わると、通常画面が表示されます。

表示例

NO DISC

**注意**

- 通常画面が表示されるまで電源をスタンバイにしないでください。
- この操作を行うと、全ての設定が初期化されます。

- 工場出荷時の設定は、設定の各項目説明の画面イメージで記載されている設定です。

# 仕 様

## 再生可能ディスク

オーディオ CD (CD-R/CD-RW 対応 )

## クロックシンク入力

端子 ..... BNC
入力周波数 ..... 10MHz
入力インピーダンス ..... 50 Ω
入力レベル ..... 矩形波 : TTL レベル相当
サイン波 : 0.5 ～ 1.0Vrms

## デジタル音声出力

同軸デジタル (COAXIAL) ..... 1
出力レベル ..... 0.5Vp-p
出力インピーダンス ..... 75 Ω
光デジタル (OPTICAL) ..... 1
TOS (JEITA RC5720C)

## 外部コントロール

トリガー入力 ..... 1
（3.5mm モノラルミニジャック）
入力レベル ..... 12V、1mA
トリガー出力（スルー）..... 1
（3.5mm モノラルミニジャック）

## 一般

電源 ..... AC 100V (50/60Hz)
消費電力 ..... 4W
待機時電力 ..... 0.3W ( スタンバイ )
外形寸法 ..... 290 x 84.5 x 248.8 (mm)
(WxHxD、突起部を含む )
質量 ..... 4.0kg
許容動作温度 ..... ＋ 5°C～＋ 35°C
許容動作湿度 ..... 5%～ 85% ( 結露のないこと )
許容保管温度 ..... －20°C～＋ 55°C

## 付属品

電源コード × 1
リモコン (RC-1338) × 1
リモコン用乾電池 ( 単 4) × 2
フット用クッション× 3
取扱説明書 ( 本書、保証書付き ) × 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

## ■ 保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年です。

## ■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 ( 製品の機能を維持するために必要な部品 ) を製造打ち切り後 6 年間保有しています。

## ■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター ( 裏表紙に記載 ) にお問い合わせください。

## ■ 修理を依頼されるときは

24 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター ( 裏表紙に記載 ) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 ( 録音内容などの補償 ) の責についてはご容赦ください。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

### 修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CD トランスポート
PD-507T
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況 ( できるだけ詳しく )

## ■ 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

**分解・改造禁止**

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

# 保証書

| | | |
|---|---|---|
| 品名および形名 | CD トランスポート<br>**PD-507T** | |
| 機番 | | |
| 保証期間 | 本体 | 1年 |

| | | |
|---|---|---|
| お買上げ日 | 年　月　日 | |
| お客様 | お名前 | 様 |
| | ご住所 | 〒<br>電話　（　） |

見本

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

**お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。**

| | |
|---|---|
| 販売店 | 所在地　名称（印）<br>電話　（　） |

## 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
   無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。


**ティアック株式会社**　〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47　https://teac.jp/jp

**この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ**
**AV お客様相談室** 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
042-356-9235　携帯電話、IP 電話をご利用の場合
0570-000-701　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合
FAX：042-356-9242
受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

**故障・修理や保守についてのお問い合わせ**
**ティアック修理センター** 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858
04-2901-1033　携帯電話、IP 電話をご利用の場合
0570-000-501　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合
FAX：04-2901-1036
受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）


● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0725.MA-4058A